



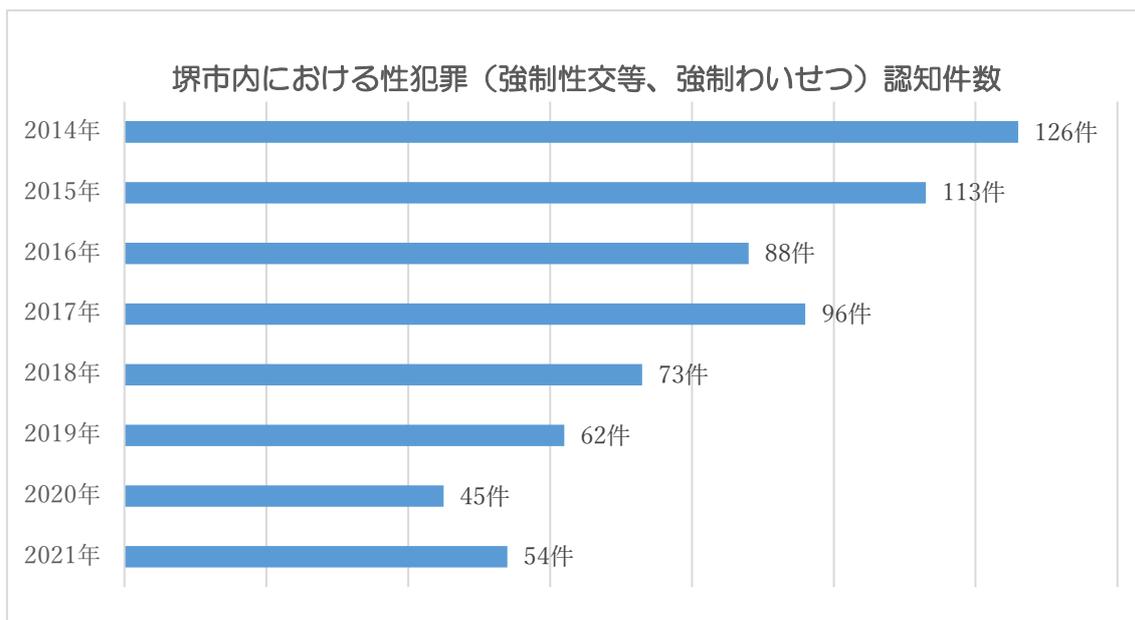
## セーフシティさかい推進事業

### 1 セーフシティさかいは

女性や子どもをはじめ、すべての市民が安全・安心に暮らせる社会の実現に向けて、「セーフシティさかい」の取組を推進している。性暴力被害への対策や、被害者にも加害者にもならないための当事者意識の啓発、被害を受けた場合の適切な相談方法や相談窓口の情報発信、被害者から相談を受けたときに寄り添うことのできる人材の育成等の取組を実施している。

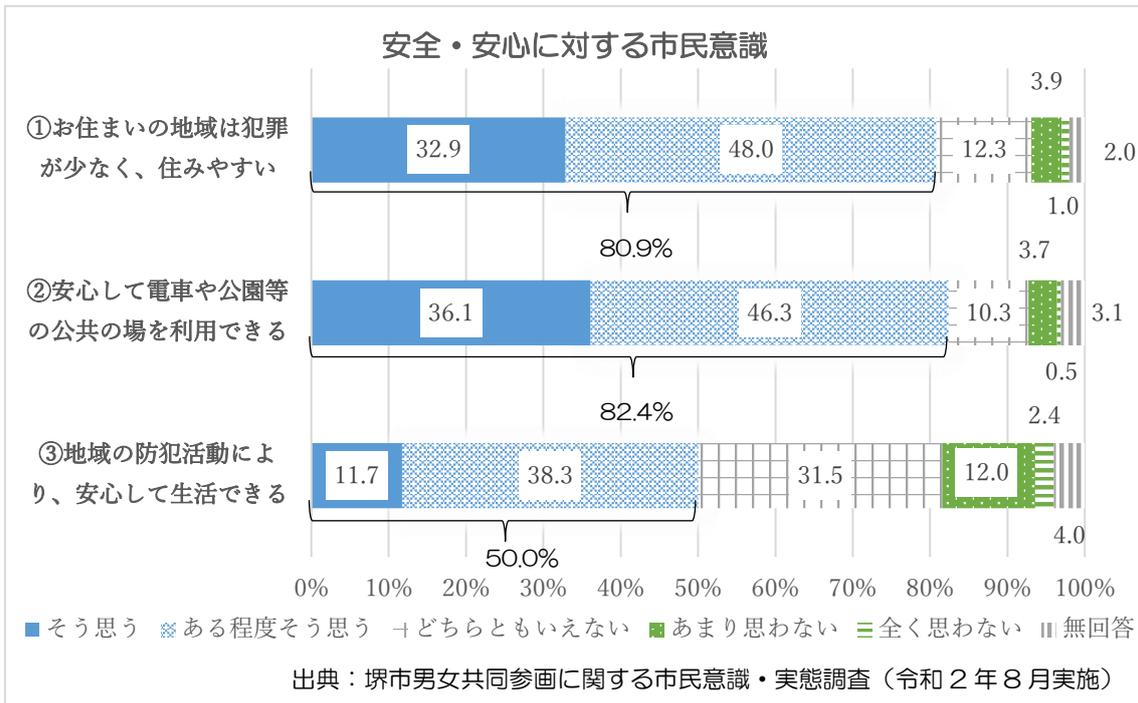
関係部署や関係機関と連携しながら取組を推進していく必要があるため、推進組織として「セーフシティさかい推進会議」を設置している。

### 2 評価指標について



2021年の認知件数は前年比で増加したものの、「セーフシティさかい」の前身である堺セーフシティ・プログラムの取組の開始年（2014年）と比較すると、半数以下の54件となっている。

2022年（令和4年）3月に策定した第5期さかい男女共同参画プランでは、令和8年度（2026年度）の目標として、令和2年（2020年）の45件より減少させることとしており、性犯罪のない社会に向けた取組を推進していく必要がある。



①「お住まいの地域は犯罪が少なく、住みやすい」、②「安心して電車や公園等の公共の場を利用できる」、③「地域の防犯活動により、安心して生活できる」の「そう思う」、「ある程度そう思う」の合計値をセーフティさかいの評価指標としている。また、第5期さかい男女共同参画プランにおいては、令和8年度の目標値を①、②は85.0%、③は55.0%としており、地域の安全・安心に向けた取組を推進していく必要がある。

### 3 セーフティさかいの主な取組

#### デートDV等予防出張セミナー

重大な人権侵害であるDV・デートDV・性暴力などの暴力の根絶のためには、次世代を担う若者が、正しい知識を身に付け、被害者にも加害者にもならないという当事者意識を高めることが特に重要である。このような認識のもと、堺市内の小学校、中学校、高校、大学、専門学校の学生を対象に、専門知識を持つ団体等から講師を派遣し、デートDV・性暴力の予防啓発セミナーを実施している。

令和3年度は、9校の申込があり、11講座実施した。1,290人が受講し、アンケート結果でも9割以上の生徒がデートDVや性暴力への理解を深めたと回答している。セミナーを受講したことで、生徒が当事者意識を持ち、暴力は許されないものであることが理解できたことがわかる。



デートDV等予防出張セミナー  
(中学生、令和3年度)

児童虐待と女性に対する暴力防止のキャンペーン  
（「オレンジ&パープルリボン」キャンペーン）

11月には「児童虐待防止推進月間」（毎年11月1日～30日）、「女性に対する暴力をなくす運動期間」（毎年11月12日～25日）であり、児童虐待とDVには密接な関係があることから、それぞれのシンボルマークである「オレンジリボン」と「パープルリボン」を並べたロゴマークを作成し、「オレンジ&パープルリボンキャンペーン」として一体的に啓発活動を実施している。



オレンジ&パープルリボン  
タペストリー

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動の一部が実施できなかったが、市役所本庁舎でのパネル展示、市公用車への啓発マグネットシートの貼付、タペストリーのライトアップ、各区役所、男女共同参画センターでの懸垂幕の掲示、堺ブレイザーズとの協働PR等を実施した。